

7月6日(金)

【中部経済新聞】

①ものづくり岡崎フェア

岡崎市内のものづくり企業が開発した技術や製品を一堂に展示する「第3回ものづくり岡崎フェア2012」（主催＝岡崎商工会議所、岡崎市、岡崎ものづくり推進協議会）が10、11の両日、岡崎市

な
岡崎会議所
ど

竜美丘会館で開催される。出展するのは66社・機関。岡崎市はものづくりが盛んな地域で、堅実な製造業者が多いことで知られる。来場者には、取引先開拓の場にもなりそうだ。（岡崎）

66社・機関が自信作PR



期間中4500人の来場が見込まれる（一昨年の会場）

フェアは隔年で企画の技術や製品を披露され、出展企業はこの。今回は、出展企業2年間に開発した自信作を「B to B」の業種

10日から「ものづくり岡崎フェア」

「素材」「EV」など8分野で構成 取引先開拓の場に

に限った。「自社に不足する技術の補完、出展者や来場者との共同開発に発展するよう、直接消費者に届ける食品関係などは対象から外した」（会議所）と
いうのが理由だ。
会場は、「素材」「金属加工」「樹脂成形・加工」「表面処理」「計測・分析」「装置・設備」「専用機」「環境・EV・蓄電池」の8つの分野で構成される。開催を前に、イチオシの技術や製品を売り込む出展企業を紹介する。

大野精工は、ラップ防ぎ、誤って足を傷つ加工と呼ばれる鏡面仕ける危険性からも解放上げを提案する。ラップしてくれる。「本社はラップと呼ばれる平面台 山林に囲まれ、草刈りにワークを置き、そのは日常的な作業。必要間に砥粒としてラップに迫られて開発にこぎ剤をはさみ、圧力を加つけた」(伊藤猛志郎えながらスライディング社長)。能力は、平らグさせる研磨方法。独特な円盤状の刃と遜色は自のラップ剤と加工法がないという。

受託解析サービスのワークでも面粗度Rz0 花市電子顕微鏡技術研究所は、素材や細菌などをナノレベルの鮮明る製品を開発したのな画像で確認できる技は、レース車両製造の術を提案する。「製造伊藤レーシングサービ業にとって、原料や加工。お椀(わん)を伏工精度の良否は生命せたような形状の草刈線。解析を通じて、もり刃を出展する。こののづくり企業を応援し形が、刈り取った草がていきたい」(花市佳機械に巻きつくことを明取締役)。